

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和4年12月1日 / No.3

「みんなの明るい笑顔が
見られるから、がんばれるんだよ。」

雨の日でも、いつも見守りボランティアのおじさんがいます。毎日、明るい声で「お帰り。気をつけてね。」と言ってくれます。私も、「ありがとう。」というと、おじさんは「みんなの明るい笑顔が見られるから、がんばれるんだよ。」と言ってもらって、心がポカポカになりました。

「ここは危ないから歩こうな！」

家に「子どもにダメと言わない」という内容の本があります。3歳と5歳の弟に「走ってダメ！」ではなく、「ここは危ないから歩こうな！」「お菓子を食べてダメ！」ではなく、「ご飯を食べてからにしような！」と声をかけたら、いつもより素直に聞いてくれました。「ダメ」の代わりに使う言葉は魔法の言葉かけになりました。

「これをこうするよ。」

つぎにやることがわからないとき、Aさんが、「これをこうするよ。」と言ってくれました。つぎは、ぼくがやさしくあったかいことばで声をかけてあげたいです。

「ぼくも手伝うよ！」

ぼくが環境美化委員長として、校庭にある草を集めていると、2年生の子が「ぼくも手伝うよ！」と声をかけ、草集めを一緒に最後まで手伝ってくれたよ。きっと一緒になって手伝ったら早く終わるし、学校がきれいになるからだよ。とてもうれしかったよ。
ありがとう！

1年生の親さんから、お礼の手紙をもらってきた小2の息子。どうやら、下校中にケガをしたその子に、優しい言葉がけをしてあげたそう。「ありがとう」その言葉に照れくさそうにしていた我が子が、親の知らない所で人に優しくしていることを知って、頼もしく思えました。お手紙をくださって「ありがとう」。頼もしく成長している我が子へ「ありがとう」。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。